内海隆一郎

＜プロフィール＞

1937 年　愛知県生まれ。

1940 年　父の転勤で岩手県一関市に移り、小学校から高校時代までを一関で過ごす。

1964 年　立教大学卒業。出版社に入社。

1969 年　編集業の傍ら書いた「雪洞にて」が第 28 回文学界新人賞を受賞。
受賞第一作の「蟹の町」が第 63 回芥川賞の候補となる。

1984 年　市井の人びとを描いた短編を、雑誌に連載。翌年、連載された短編をまとめ「人びとの忘れもの」として発表。 以降、「人びとシリーズ」と呼ばれる、日常生活のなにげない出来事をおだやかな文章で描いた心あたたまる短編を書き続けている。

1993 年　「鮭を見に」が第 110 回直木賞の候補に。

1995 年　「百面相」が第 113 回直木賞の候補となる。

2008 年　「人びとシリーズ」のベストセレクション「30％の幸せ」を出版。

【語り手】

大 塚 富 夫　IBC 岩手放送。2010 年まで放送された内海作品だけを取り上げた番組「ラジオ文庫」（IBC 岩手放送）のナレーター。舞台でも数多く内海作品を上演している。

吉 田 瑞 穂　IBC 岩手放送。「ラジオ文庫」のナレーターとして大塚富夫とともに長く番組を支える。

武 田　　肇　元ラジオ日本アナウンサー、Ａ・ＳＴＥＰ朗読フォーラム主宰

柳 原　　隆　マック・ミック所属

葛野裕美子　シグマ・セブンｅ所属

中央区立日本橋社会教育会館